昭和28年7月1日　公民館報　こすど　（毎月1回1日発行）、（非賣品）　第46号　(一)

公民館報　こすど

発行所　小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集兼印刷人　矢部三郎

農業講座

新農薬と使い方

❶デチオカーバメイト系殺菌剤＝有機硫黄金属塩類に属する薬剤で、アメリカで創製され、現在本邦でも製造されているが、舶来品が今迄優秀な結果を納めている。ダイセーン、ファーメート、ザーレートはその代表的なものである。販賣しているものには水和剤と粉剤があるが、通常水和剤として水に稀釋して使用する。固着懸垂性が高く此の儘でもよく作物に附着するが、展着剤を用いた場合は更に効果は増進する。空氣傳染性の種々の病害に適用せられ、特に銅剤を嫌う瓜類や桃、梨、リンゴ、葡萄等の果樹の病害にも卓効がある。

本劑の特徴は銅劑と異って藥害の心配は殆どなく且つ撒布後の活染も極めて少いので、溫室内の花卉や高級蔬菜等にも推奨せられる。尚ボルドー液や石灰硫黄合劑等のアルカリ劑との混用は良くないが砒酸鉛、BHC、DDT水和劑、硫酸ニコチン、諸種のテップ劑、デリス粉等の殺虫劑の併用は差支えない。

適用病害、麥類銹病、馬鈴薯疫病、胡瓜、甘藷、ホーレン草、葱の露菌病西瓜の炭疽病、疫病、その他十字科蔬菜の斑点性病害、草果、梨、赤星病黒星病、黒斑病、桃の縮葉病、炭疽病、櫻桃斑点病、カーネーションの銹病を始め、花卉の病害でなお今後の試驗によって追加されると思う。

毒性に就ては人畜に対し特別の注意を要するものでない。

❷銅水銀剤＝保護殺菌剤としての銅剤と、直接殺菌剤としての水銀剤との混合物である。従って効力の持続性と即効性をねらった殺菌剤であるから、病氣の出かゝった初期に使用して大變に良好の成績を挙げている。特に病害が可成り進んだ時には銅劑単用より有効と考えられる。現在市販されている銅水銀剤では、次のものがある。

(1)三共ボルドー（水和劑）効力としては直接殺菌力、水銀劑）と保護殺菌力（銅劑）とを兼ね備えているので良好である。特にキウリ、スイカ、トマト、ハクサイ等の蔬菜類の病害に対して好評である。

(2)フジボルドー（水和劑）銅水銀劑として効力もあり効果もあると考えられる。藥害及び毒性は前記のものと同様である。

(3)水銀撒粉ボルド粉劑撒粉機で風の少い時に撒布する。主として馬鈴薯疫病に適用するが、未だ沢山使用されていない

(4)その他銅水銀劑として大坂新農薬KKのマリオンという製品がある。マリオンには水和劑と粉劑の二種がある。

❸有機燐劑＝この種の藥劑は通性として燐化合物を含む爲に人体を始め家畜家禽にも有毒であるから、使用に当っては注意を要する。又概して人間の皮膚や作物の虫類に滲透性を有するものが多いバラチオシ劑のホリドールに就ては別の機会に譲りたい。

テップ劑（TEPP）DDT、BHCが適用される害虫が多く、且つ強力の殺虫劑である爲に廣く蝙虫用として愛用せられているが、然し未だ凡ての害虫の万能と迄は行っていない。多くの種類を持つ蛾虫やダニ類を始め、浮塵横這の或種類介殻虫や直翅類の害虫等には案外効果の少いものの半例である。テップ劑はBHCやDDTの比較的効かない害虫にも特効があるもので、既に販賣使用されている。

水に溶かして置くと加水分解を起して殺虫力が次第に消失するので、使用の際は水溶後なるべく早く、遅くとも五時間以内に撒布しなければならない。現在の試驗の範囲では蛾虫、赤ダニ類に最もよく効き、又他の藥劑で旨くゆかない褐黒ヨコバイや泥負虫、稻アオムシ介殻虫の驅除にも優れた効果を持っている。その他の殺虫効果は目下試驗中のものが多い。

通常二千から三千倍に水で稀めて使用する。黄燐を原料にする関係で人畜にも有害である故、撒布の際は簡単なマスクを用いて吸飲しないように努め、皮膚に付いた場合は直ぐ水洗して置く事が大切である。尚野菜類や果実等に使用した場合は三日後に採菜又は食用に供する事、千倍以上の濃厚液では瓜類、トマト等の幼弱なものや梨、桃等には應々藥害を起す事があるから注意を要する。

殺虫機構は速効性の接触剤で効力の持続性をかき神経毒として虫に作用する殺卵力はない。

テップ劑の商品名と会社ニッカリンーT日本化学DTEPP（日東商原）ニホスーTH（塩化学）トックス（富山化学）

デプリン（石原産業）キニグTEPP（キニグ）日曹テップ（日本曹達）改良普及事務所　松井

ホリドールを撒布した田畑は危険

新農薬として本年より稻の二化螟虫を初め、その他の農作物害虫を驅除する爲に使用されております。バラチオン劑ホリドールは人畜にも有害でありますので、撒布した田畑には五日乃至七日間毒性が殘効しますので適当な方法で使用者が標示する事になっておりますから、防備の服装をした以外は圃場に立入りしないで下さい。特に子供さんが田畑に遊ぶ事は危險ですから注意するようにしましょう。

敬察だより

交通安全に就て

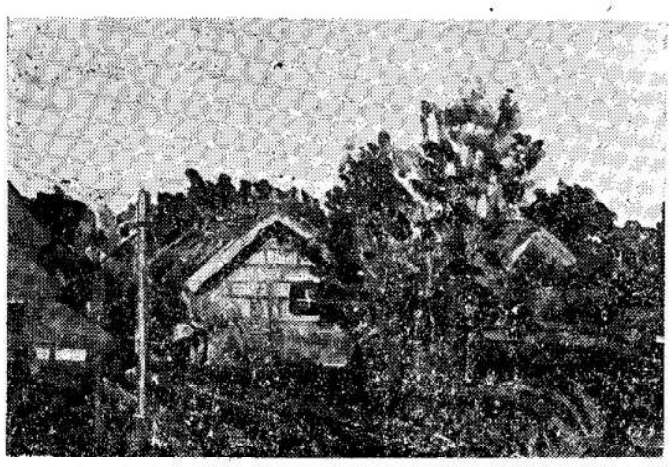
交通安全等と書いてもいつも聞き慣れている事で余りピーンと頭にこないと思いますが、小須戸町に殺人事件が発生したとでもなると、全町民の心にピーンと響きます。交通事故の殆ど全部は過失で、全く思いがけない時に突発するものです。それでこの交通事故は平素の完全な注意力によって充分に防止出来る事でありまして、それは何も難かしい事ではなく、ただ法規を完全に守って頂けばそれでよいのです。法規といっても別に難かしいものではありません全くの常識程度です。

先月の五月十五日から廿四日迄、全国一斉に「交通安全運動」が行われ、当署では小須戸町を々対面交通のモデル町々として指定させて頂いて、町民の皆様から正しい対面交通の実施に就て御協力を頂いたのでありますが、五月十三日と廿四日の二日間に対面交通の遵守率の調査をやりましたが、子供は大人に比べて人は右側、車馬は左側という対面交通の大原則をよく理解し、大人はあまり守らないと云う数字が出ております。

事は、交通事故死も強殺死でも變りはない筈なのでありますが、それだけ「交通」という事に対して常に関心が拂われていないという事になるのではないでしょうか。

交通事故の殆ど全部は過失で、全く思いがけない時に突発するものです。それでこの交通事故は平素の完全な注意力によって充分に防止出来る事でありまして、それは何も難かしい事ではなく、ただ法規を完全に守って頂けばそれでよいのです。法規といっても別に難かしいものではありません全くの常識程度です。

先月の五月十五日から廿四日迄、全国一斉に「交通安全運動」が行われ、当



館報公民館

美術展覧會

工細土粘生寫書席

会館人　公民館同人美術愛好会主催後援

絢爛眼を奪う美術展覧会は、了事寺のお講の日に公民館で開会、朝から人脚引きもきらず終日賑やかに有意義に終了した。年々その成績の向上をみる事は誠に嬉しい。入賞者左記の通り

◎書道の部

金賞一二年　高山良明
三年　高橋勝生
四年　岡義弘
五年　笠原レイ子
六年　佐藤仁
中一　浅見幸子
中二　石井淳子
中三　笠原えり子
銀賞一二年　小見のり子
星名彌生
三年　城丸眞佐敏
吉田忠弘
四年　藤井昇
風間儀四郎
今井京子
五年　石附昭子
吉崎勝利
六年　吉岡利明
本田敏
保科俊輔
五十田和子
中一　村井容子
栄森靖生
岡壽一
中二　森内伸生
志田和子
中三　廣川マスエ
大塚昭子
佐藤礼子
板井武子
山田和勇
山内

◎寫生の部

金賞一年　吉田秋江
二年　田辺チィ子
三年　笠原宋子
四年　野崎新一
五年　海津聰
六年　青木達男
中一　小柳君子
中二　三浦巖
中三　高橋澄子
高校　佐藤豊一
銀賞一年　根津いさお
富樫三明
二年　小見のり子
武藤しずお
三年　白井ヨシ子
土田京子
吉田忠弘
渡辺裕
四年　風間由郎
小島祥子
山中見康
五年　長谷川由美子
笠原レイ子
六年　森内紀一
小柳澄

◎粘土細工の部

金賞一年　村井正
二年　和久井雄
三年　渡辺裕
四年　吉岡昭
五年　吉崎勝利
中学　古木堅作
富樫三明
銀賞一年　村山実
二年　井上輝男
三年　吉田忠弘
四年　風間儀四郎
田中勝
五年　星名誠治
村井昭夫
一般　小林泉
内山勇
中一　穴沢スミ子
原滋喜
中二　岡田幸一
田中カツ子
中三　森田ナシ
井上澄江
島倉政子

田舎ではそんな事はどっちだっていゝではないかとお考えになる方があるかも知れませんが、どうしてそれが一番交通事故の基となっております。

皆さんがバスにお乗りになればよくお分りかと存じますが、狭い道路にたくさんなバス、そして通行人は右も左もテンデバラバラ〳〵、その爲バスはのろ〳〵、切角高い料金を出して早く目的地に行く爲にバスに乗ったのが、こんな事ではとジレッタク思う事もあると存じますところが自分が先行している時、自動車が來ても仲々よけてくれない。注意すると「俺だって税金を拂ってるんだ、自動車だって人間だって同じだ」等とうそぶく御仁もあるに至っては沙汰の限り。警察署と致しましては自動車運轉手に対しては、年に数回、運轉者講習を実施して必要な注意指示をなえております。又毎日毎夜パトロールカーで巡回して、隨時自動車の路上検査を実施して、不備な車輛の絶滅に努力しております。

僅か一分かそこらの時間を急ぐ爲に、色々の事故が起きるのであります。狭い道路でしかも道は悪く、通行は容易ではないのでありますが、さりとて道路は早急にはよくはならないのでありますから、どうか譲り合って通って頂きたいと思います。ただ遵法と互譲の精神、之のみがあのいまはしい交通事故を絶滅する事のできる鍵であると思うのであります。

六月公民館日誌

三日　商工会聖書研究
五日…大工組合講習会
　謡曲研究会
六日…社会福祉協議会
八日…公平委員会
九日…簿記講習会
十日…郷教育委員会
十三日…遺族役員会
　麗光クラブ
十四日…粘土細工大会
　絵画書等審査会
十五日…謡曲俳句会
十六日…西蒲小中川公民館長外来観視察
十七日…聖書研究会
二十日…美術展覧会
廿一日…謡曲
廿二日…運営審議会
廿三日…映画会
廿四日…聖書研究会
廿五日…謡曲

重要文化財保護

茂林寺地蔵菩薩像修理

茂林寺の国寶地蔵尊は彫刻甚しく、殊て重要文化財保護委員会に対し修理を申請中の処、此の度許可になり貞観開薬師如来像（刈羽郡岡之町）と共に茂林寺に於て七月下旬から約三カ月間の予定で奈良市の佛師、白石義雄氏の手により修理が施される事になった。

工費（茂林寺分）弐拾九万参百拾五円也、国庫補助金弐拾参万八千円也、地元負損金五万参百拾五円である。

破損甚しく、殊て重要文化財保護委員会に対し修理を申請中の処、此の度許可になり貞観開薬師如来像（刈羽郡岡之町）と共に茂林寺に於て七月下旬から約三カ月間の予定で奈良市の佛師、白石義雄氏の手により修理が施される事になった。

工費（茂林寺分）弐拾九万参百拾五円也、国庫補助金弐拾参万八千円也、地元負損金五万参百拾五円である。

竣功の暁は金色燦然と四隣に輝き渡り、佛果治ねき事と今から喜びに堪えない次第である。

横水分館だより

横水分館では教養図書部、社会部、保健体育部芸能部、視聴覚部、産業部の六部で事業計画をたて、一丸となって活動して來たのであるが、昭和二十八年度から更に婦人部を新設して、農村婦人の修養並に努力目標を生活改善に直結し、互助共励のもとに着々その成果をあげつゝある。

学校だより

梅雨があがれば間もなく暑さがやって來る。そこで深刻に憂いをそゝるものは「兒童の水泳」である。泥の信濃川に入っている子供達の事を考える時、何とかならぬものか、川に入るなという学校の苦しい立場、やむなく入れる立場を考えて、町民各位の御一考を要望する。

プールが出来ればなあ!!

新保分館だより

新保婦人会料理講習

新保婦人会では、六月十四日午後一時より田植え休みを利用して左記の通り栄養料理講習会を開催、終って試食会をなし有意義な半日を過した。

記

一、講師　東京栄養研究所　高野史郎氏
一、受講者　二十数名
一、実習　豆腐の作り方
　ガンモドキ
　コロッケ

腸チブス予防注射第三回目実施

（町保健部）

本年度のチブス予防注射は予防接種法により満三才以上六十才迄が注射を受けなければならないが、すでに一回二回を実施したが、注射の副作用を恐れてか成績が上らないので、役場では此の度の注射は副作法用を起す心配はないと思われるから、該当者は健康保持の爲に一人残らず注射を受けてもらいたいと要望している。

三回目は次の日程で実施される。

実施日　会場地域　該当者　医師名

七月六日午後一時－三時　公民館　大字小須戸満三才－六十才　川田先生
七月七日　〃　矢代田校　矢代田天ヶ沢新田鎌倉　〃　神村先生
七月八日　〃　新保校　新保、龍玄新田　〃　森内先生
七月九日　〃　横水校　横川浜、小向、水田　〃　保科先生

御詫び

去る四日朝、私儀不注意により出火致しました際は、早速御駆け付け下され且又御同情御見舞を賜りました事を誠に有難く厚く御礼申上ます。

早速拝趨の上お詫び申上ぐべき筈の処、失礼乍ら紙上を以て取敢えず御詫び旁々御礼申し上げます。

土堤町　加藤和忠次

(三) 第46号 昭和28年7月1日 こすど 公民館報 (毎月1回1日発行)(非賣品)

(論説)

人生を学ぶ

朝日義惇

我々は現実生活で多くの人とつき合い、色々な問題を処理していく場合に、ものゝ考え方に就て人それ〳〵の特色が有る事に氣が付きます。大別して見ますと、むやみに結論を急いで実行に邁進しようとする行動型と、非常に大事をとって思案をめぐらす思索型とがあるようです。云いかえると、もの事を割切って考える人と、打診し乍ら進む人とあります。此の二つを調和する爲に「大胆にして小心なれ」とか「百尺竿頭一歩を進める」というような言葉が出来たのです。之を今日の日本人が当面している思想上の問題に移して云えば、自由主義と共産主義の対立の如きは誠に代表的なものであります。自由主義の立場からいうと、孔子は一生を通じて学んだ人であります。学の道は山を登るようなもので、一歩登れば一歩だけ廣い眺望が開けるのであります。

自分の今立っている場所を最上、最善と考えて嘲笑するような獨斷は、明かに自分が学んでいない証據だと云えます。本当に人生と社会と歴史を学ぶ者は、常に謙虚な心を失わない人に違いありません。謙虚ではあるが心の底には厳のような信念と、炎えるが如き眞剣さが宿っていましょう。

今日の風潮、社会の混乱世界の危機は其の発する源が深く遠いのでありまして、決して万能の即効薬があって直ちに癒るのではない。世界の一切の不安と危機は、天上から降ったのでもなく、地下から湧いたのでもないのです。みな人間の胸中より出たものであります。我々は時代と社会の病弊を矯いて、危機を除こうとするに当って、是非共おろそかに出来ない重要事がある事に氣付かねばなりません。自からの心の中に向って、深く其の原因を究尋すべき面のある事を忘れてはなりません。簡単にものを割切ったり、たやすく肯定したり、ものを無闇に否定するような態度が是正せられ、一方では又自己に拘泥して他を容れるに遑ない偏狭な考え方も、だんだんと影をひそめるように努力しなければなりません。

～美術展覧会風景～ (岡元京一撮影)

総ての人間の歴史は階級闘争の歴史であると云います。それは人間の世界に生む出来事として、説明しようとする余りにも割切りすぎる一つの無理が使って説明するのですから感ぜられます。自分達の人々や、團体までも生れて来る狀勢が見られますが、之が行動民性の上からいっても、暴力行爲に出たり、理論派は事々に勝手な理窟をつけて紛糾を重ねていたら、正しいものゝ見方、考え方は失われて不正、不義の横行する社会となってしまいます。行動派は何でも勝手に割切って赤飯と油揚げの御馳走をいたせ」と命じました。兵助は大變喜んで、武士の云う通り早速御馳走を整えて、できるだけもてなしました。さんざん食べ終ると武士は「又明日家にこぶを貰いに参るぞ。」と云って出て行きました。こうして武士は再三こぶをもぎに兵助の家を訪れましたので、さすがの兵助もこぶの爲にすっかり神経衰弱にかかりそうになってしまいました。

新保の白木名主も大変心配して、色々手を廻して調べて見ましたが、新発田藩にはそうした事実はないと云う事が解りましたが、対手が武士ですら大変困っていました。

或る日の事、小須戸の者が五泉の市に出掛ける爲朝早くまだ薄暗い中を、横町から出雲神社の辺にさしかかると、変なものが踊っているのを見付けました。その頃は東町も出雲町もありません。今の横町の橋から先は草ぼうぼうで、出雲神社の辺は狐狸の住みそうな淋しい場所でした。

その人は尚も薄氣味悪くなお胃腸を丈夫に、食物の質と量とに注意する。水を呑みたがる時は番茶白湯新しい果汁を与える。

季節のことば＝七月

若人の季節

杉田優

七月のカレンダーは若緑が深い。よくもと思う人の手でめくられていくことか。

山開き、鮎の解禁。

山頂に湧き上る巨大なビールの泡にも似た雲の峰。

暑の炎暑が去れば、巷に綠陰にボクとアタシの逃路が展ける。

◎

私がいま七月のカレンダーをめくるとなると、地球を二十年分逆回りさせなければならない。二十年の私の遍歴はどうした訳か信濃川と共に因からその源泉にまでさかのぼった訳だから、この川に関する限り「我が青春に悔なし」である。残念な事に国外へ出た事がない。金さえあればフランスへ行くのだが——

◎

信濃川は不思議な川だ相容る支流は魚野川、清津川、中津川と何れも清澄な流れで、鮎が群れているのに、本流の信濃も千曲も（信州では千曲川と呼んでいる）年中濁っている。この点、上流でも大差がない。佐久辺になると、眞夏でもチョッキをつけた人が、鮒や鯉を釣上げている。どの支流も眞黒に陽やけした子供達の天国だが、本流になると河童がいない。天国どころか恐ろしい地獄なのだ。この頃になると年々幾多の若い生命を呑みこむのだ。河水は恐るべき牙と矛盾を抱蔵したまゝ、愛の如く流れている。川は愛の如くなのかも知れない。川は人間の無爲無策を笑っているのかも知れない。

◎

小須戸橋に立って、若き日の樂しかった遍歴の追憶にひたる時、私は胸底の深所に終生消えない傷痕を見出すのが常である。

（この稿続く）

社會福祉協議會並事業報告

六月…總会並講演会
慰靈祭施行
七月…郡社会事業大会
当町に施行
療養所慰問
八月…優良社会事業施設視察
九月…共同募金運動
敬老会
十月青少年保護育成運動
十二月…歳末援護運動
社参拝

歳入
九〇、四六四円八〇銭
歳出
五二、四二〇円〇〇銭
差引
三八、〇四四円八二銭

主なる行事
五月十二日郡母の日大会
七月五日 總会並講演会
八月五日 療養患者慰問
九月十五日 敬老会
十一月九日 道見新潟神社参拝
歳末慰問
十二月三十日
三月十六日 帰国者歓迎
昭和廿八年度行事
五月…月末募金運動

七月だより

松野津代

もう七月か、一年も峠を下りかけた。七月と云えば、七夕が浮び上ってくる。五節句の一つ天に輝く牽牛織女の二星が七日の夕、天の川を渡って一年間の積る話を語り明すと云われている。もし今年は七月十八日が当日の夜雨が降れば天の川が氾濫して、逢う事が出来ず泣き明すという傳説である。子供は星祭りと云って若竹に色紙を吊り本年は八月十七日に当る心のたけを書いて祈りを捧げると云う極めてロマンチックな情味を帶びた行事である。

三伏の候とは手紙の書出しの句である。その訳は初伏、中伏、末伏と合わせて三伏となる。

半夏生は半夏という薬草が生ずる頃である。

小須戸風土記

新保の兵助と白狐

柏大治

昔から狐や狸が良く人を化かしたと云う話を聞きますが、科学や学問の進歩した今日では、誰もそんな事は本当に信じません。しかし高田市在から出られた元東洋大学長故井上円了博士は、こうした妖怪学を研究した大家でありますが、理外の理と云うものがあって、狐狸などゝ人が化す事があるそうです。

その狐に本当に化かされた話があります。

享保といいますから今から約二百三十年ばかり前の昔話——。新保村に兵助どんと云われる人がいました。どうしたものか子供の頃から頭に「大こぶ」ができて来ました。その頃は医学のあまり進歩しない時代でしたから両親も兵助のこぶには大變心配しましたが、手術をする事ができない儘に兵助は成長しました。

或る日のこと立派な武士が三人、あばら家の兵助の家を訪れました。家人は何用であるかと驚き、あやしみながらも迎え招じ入れました。すると例の武士は威猛高に「我々一行は新発田公の家来であるが、此の度君命により兵助その方のこぶ見苦しいから、もぎに来たのだ。」と云い渡しました。あまりに突然の事と、根が純朴で小心な兵助どんはすっかりちぢみ上ってしまいました。

七月の衛生

家庭欄

一日に梅雨が明ける。梅雨あけの第一の仕事は寝具類・衣類の日光消毒

下水を始め水のたまった所や濕氣のめった場所を念入りに掃除する

家具や建具にも「かび」を生じている事が多い。壁はよくふきます。風、蚤等は家屋の僅かな隙間や衣類寝具の縫い込み等に卵を生みつけているから殺虫法を講じます。

DDT又は石油液劑をまく事を忘れずに。

傳染病予防対策が必要、家屋内のハエを退治する事、便所には窓にアミ、便器にフタを忘れない。食品の腐敗防止手の消毒と清潔等を厳重にやる。

寝冷えしないように寝巻の工夫が肝心。

晴天続きの時、衣類書画等しまい込んでおいた物氣しまい込んでおいた物の濕氣拂い。但この頃は虫が活躍しているから取扱に注意が肝要です。

この頃は乳幼児の死亡率が一番高い時季で、赤痢、腸膜炎、乳児脚氣消化不良等おそろしい病氣が幾つも眼を光らしているから油断は禁物。

出生 死亡

出生五・二七—六・二七

鎌倉 矢代田 渡辺貴代江
長谷川裕二 長谷川裕一
小須戸 片岡チエ子
高橋昭雄 平間健
〃 土田武男
横山勝子 本間修
〃 小須戸 齋藤トシ子
〃 天ケ沢 山田洋子
〃 田上村 江部一晴
小須戸 笠原マチ子
西脇とし子 加藤考二
〃 鎌倉 中野和博
〃 天ケ沢 土田行康
小須戸 田中貴代蔵
吉沢衛一 矢代田 田沢京子
小須戸 新保 能子

死亡五・二五—六・二七

横川浜 吉田リセ
小須戸 五十田忠次
天ケ沢 高野フミ
小須戸 上田トメ
新保 鳳間サク
天ケ沢 土田ヤエ
小須戸 加藤カウ

三千米二等平間昇
走巾跳一等高井寅蔵
二等石本セツ子
走高跳一等木下ヨシ
二等高井寅蔵
砲丸投一等井上スミ子
二等鳳間妙子
四百リレー女子一等
八百リレー男子二等
千六百リレー男子二等
三等以下多数入賞者

新津郷陸上競技大會

小須戸中の成績

百米一等間野綾子
二等高井寅蔵
〃 谷川キミ
二百米一等石本セツ子
二等竹石高峰
〃 長沢カオル
四百米一等木伏竹男

付 証保保限期無
装置水防ベアリング
号
ヒドリ
坂井輪店
電170

具品
氣料
食品
粧品
ヨナル
オジオ
ラシ
化
濱屋
電112 町番二

地下タビ
運動靴
自力
強いはきよい
横川
横山履物店
草履
スポンヂ